地域で取り組む鳥獣対策

2021年8月撮影

鳥獣対策の一歩目は、鳥獣被害を知ることから

鳥獣被害の最前線は〝私たち〟

浪江町の鳥獣被害についてご存じでしょうか。

鳥獣に関する町への通報はイノシシに次いでニホンザル、中型獣（アライグマ、ハクビシン、タヌキ）の順に多くありました（下表参照）。有害鳥獣は私たちの農作物をはじめとした財産を横取りするだけでなく、生活に不安を与える地域課題となっています。

鳥獣被害はなぜおきるのか

イノシシやニホンザルが人里まで出没するのは、山に食べ物がない、住処がないからではありません。

農地や住宅の庭で手軽に「美味しい食べ物を確保できるから」です。鳥獣被害に合う地域は動物たちにとって、美味しい食べ物が、簡単に手に入る楽園となっているのです。

鳥獣対策の鍵は「地域の力」

鳥獣被害を低減させるには「自分の土地は自分で守る」、「地域はみんなで守る」という意識が重要となります。一人ひとりの〝点の対策〟が繋がって、線となり、〝線と線を繋ぐ〟ことで、地域という〝面での対策〟となります。

動物たちにとっては、生ごみや放置された柿も作物と区別なく魅力的な「エサ」になります。人にとって価値のある作物だけでなく、地域単位で「エサ」となるものを減らし、動物たちがこの地域では簡単に食べ物が手に入りにくいと認識させることが重要となります。

鳥獣対策は主に**「被害防除」「環境整備」「捕獲」**の3種類に分類され、ここでは、個人でも対策のしやすい「被害防除」「環境整備」について紹介します。

放置された作物を食べるイノシシ
2019年11月撮影

令和３年 鳥獣に関する通報（抜粋）	件数
捕獲要請（イノシシ）	40件
家屋・ほ場・敷地侵入（イノシシ）	6件
ほ場食害・追い払い要請（ニホンザル）	4件
中型獣敷地内侵入、捕獲依頼など	11件

	ニホンザル捕獲頭数	イノシシ捕獲頭数
令和３年	17頭	467頭
令和２年	9頭	468頭
令和元年	0頭	752頭

危機管理意識を高めよう！地域の鳥獣対策を紹介

環境整備

自分にできることから

秋元 正美 さん
南相馬市原町区に在住。浪江町で仕事をしながら、川添にある自宅の土地を管理しています。

鳥獣被害は突然に

朝夕の仕事の合間に浪江町の自宅跡地で土地を管理していた秋元さん。イノシシが昨年6月から、近隣の〝やぶ化〟した土地で泥遊びしている姿を見かけるようになっていた。

いつものように自宅へ戻ると、震災以前に植えて残っていた山芋やチューリップなどの球根が狙われて掘り返されていることに気が付き、対策の必要性を肌で感じたそうです。

農家から学んだ「環境整備」

仕事で知り合った農家さんから「山芋の根やチューリップの球根などは処分すると良い」と助言を受け、その他にもイノシシを寄り付かせないため、草刈りを行っている秋元さん。「草の背丈が40㎝くらいの時に草刈りをすると楽に作業ができます。また、刈った草は薄く広げて枯れるまで寝かせることが重要です。1か所にまとめると、ミミズが発生し、そのミミズを食べにイノシシが来てしまいます」と、経験を語りました。

刈った草は薄く広げる

一人ひとりの対策が必要

近隣で帰還した人が少なく、土地が放置されている状況の中、「土地所有者一人ひとりが土地を手入れして、自分たちの土地に愛着をもつこと」と、地域で土地を守る意識が必要だと教えてくれました。

被害防除

経験と知恵を活用する

渡部 舜 さん・**美代子** さん
4年前に本宮市から北幾世橋に帰還しました。自宅敷地内で家庭菜園を行っています。

自宅の敷地は穴・穴・穴

渡部さんご夫婦は浪江町に帰還後、目にしたのはイノシシが掘り返したいくつもの穴でした。「木の生えていない、地盤の緩い箇所が多く掘り起こされていました」と、当時を振り返ります。

経験を活かした「被害防除」

震災前に大根農家だった渡部さんは「イノシシは人の声に敏感に反応するんだ」と、農家時代の知識を応用した〝ラジオ〟を使った対策を紹介してくれました。

イノシシの侵入経路となる場所にラジオを設置し、夕暮れに電源をオン。雨に濡れないよう「自作のラジオボックスに入れて、吊るしておくんだ」と、ほほ笑みます。

地域に合わせた対策

これまでの経験を活用した被害防除の対策を行う渡部さん。ラジオの電源をつけ忘れて被害に合うこともありましたが、「ラジオを流してからは、イノシシの被害はなくなりました」と、手ごたえを実感しています。

何度も試行錯誤を繰り返した渡部さんは「どの対策も地域や状況によって効果が変わるので、まず人の対策を知って真似してみることです」と個人ができる対策のコツを教えてくれました。

自作のラジオボックス

有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、是非お話しをお聞かせください。

問 農林水産課農林水産係
TEL 0240(34)0246